

平成23年度 秋冬作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

公益財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成23年度秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成24年7月18日(水)にメルパルク京都において開催された。
この検討会には、試験場関係者20名、委託関係者10名ほか、計45名の参集を得て、除草剤8薬剤(18点)、

生育調節剤4薬剤(9点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成23年度 秋冬作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

注) アナライズは新たに判定された部分を示す

A. 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
1. AH-01 液 ケルネシネートPナトリウム 塩:11.5% [Meiji Seika 7707 北興化学工業]	ニンク	適用性 新規	植調研 和歌山 香川 (3)	ねらい 対象 雑草	萌芽前散布 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 300mL <100L> 300mL <150L> 500mL <100L>	継	継) ・効果、葉害の確認
	ニンク	適用性 継続	J青森 石川植防 和歌山 香川 (4)	ねらい 対象 雑草	畦間散布 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 畦間雑草茎葉散布 ニンク生育期・雑草生育期 300mL <100L> 300mL <150L> 500mL <100L> 対) N-スチレン ニンク生育期・雑草生育期 300mL <100L>	実	実) [秋冬作:一年生雑草] ・ニンク生育期、雑草生育期 ・畦間茎葉処理 ・300~500ml<100~150L>/10a 注) ・雑草の草丈30cm以下で散布する ・作物に飛散しないように散布する
2. AKD-7164 水和 剤:50% [アロキシア]	サ	適用性 継続	植調研 (1)	ねらい 対象 雑草	茎葉 (50g/10a) の拡大 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般(ワカサを除く) 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 全面土壌処理 生育期 雑草発生始期(定植1ヶ月後期) 50g <100L> 100g <100L> 150g <100L> 300mL <100L> 対) トリフナイド 乳剤 定植後雑草発生前	実	実) [秋冬作、露地:一年生雑草] ・サ 生育期(定植1ヶ月以降)、 雑草発生始期 ・全面土壌処理 (砂土、砂壤土を除く) ・40050~150g<100L>/10a 継) -50gでの効果、葉害の確認
3. TMZ-9911 液 30%化ナトリウム 99% [アリスチアサイエンス]	サ (直播)	適用性 継続	植調研 和歌山 (2)	ねらい 対象 雑草	播種前処理 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 <水量> /10a 被覆内3日間くん蒸処理 播種前、雑草発生前 10kg 15kg 20kg 30kg 対) N-スチレン 微粒剤 播種前、雑草発生前	実 (従来 どおり)	実) [秋冬作、露地または施設:一年生 雑草] ・播種前、雑草発生前 ・土壌くん蒸処理 ・10~20kg/10a 注) ・薬剤容器を被覆資材下に設置 し、被覆内で薬剤処理を開始 する。処理開始4日後に被覆資材 を除去するまで密封状態を保 つ。被覆資材除去3日後を目安 に耕起する。植付けは耕起4日 後以降に行う。 ・過湿条件では出芽抑制を生ず ることがある 継) -年次変動の確認

A. 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
4. フェナム液 フェナム:37% [UPLジャパン]	ホレンソウ	作用性 新規	植調研	(1) ねらい 対象雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 1000mL/10a <100L/10a>	-	(作用性)
	ホレンソウ	作用性 新規	植調研	(1) ねらい 対象雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 1000mL/10a <100L/10a>	-	(作用性)
				試験設計等 茎葉兼土壌処理 ホレンソウ子葉展開期 600mL/10a <100L/10a> 800mL/10a <100L/10a> 1000mL/10a <100L/10a>		

B. 平成23年度 春夏作分 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
1. AH-01 液 グリホサートPナトリウム 塩:11.5% [Meiji Seikaファル マ、北興化学工業]	アスパラ ガス	適用性 新規	北海道 山形園試	(2) ねらい 対象雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 <水量> /10a 500mL <100L> 500mL <150L> 1000mL <100L>	-	・前回の判定どおり(実・継)
	ヤマ/代	倍量薬 新規	青森 野菜研	(1) ねらい 対象雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 500mL→500mL <100L> 1000mL→1000mL <100L>	-	
				試験設計等 全面雑草茎葉散布+畦間雑草茎葉散布 両芽前・雑草生育期→ヤマ/代生育期・雑草生育期 500mL→500mL <100L> 1000mL→1000mL <100L>		
2. AK-01 液 グリホサートアピロピルミン 塩:41% [TAC普及会]	ホレンソウ	適用性 継続	栃木	(1) ねらい 対象雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 250mL <50L> 500mL <50L>	-	・前回の判定どおり(実)
				試験設計等 雑草茎葉処理 耕起7日前、雑草生育期(草丈30cm以下) 250mL <50L> 500mL <50L>		
3. HCW-201 7077g/L DCMU:50% [保土谷UPL、北興化 学工業]	ヤマ/代	適用性 継続	青森 野菜研	(1) ねらい 対象雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 100mL <100L> 150mL <100L> 200mL <100L> 対) ロックス水和剤 ヤマ/代生育期 雑草生育期 100g <100L>	-	・前回の判定どおり(実・継)
				試験設計等 畦間茎葉兼土壌処理 ヤマ/代生育期 雑草生育期 100mL <100L> 150mL <100L> 200mL <100L> 対) ロックス水和剤 ヤマ/代生育期 雑草生育期 100g <100L>		

B. 平成23年度 春夏作分 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
4. アラコ-ル 乳 アコ-ル:43% 【日産化学工業、日本 農業】	アロコ -	適用性 継続	鹿児島大隅 (1)	ねらい 対象 雑草 定植後、雑草発生前 一年生(稲) 全般 一年生広葉 全般 多年生(稲) - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10s 全面土壌処理 定植後、雑草発生前 150mL <100L> 200mL <100L> 対) アコ-ル水和剤 定植後、雑草発生前 200g <100L>	-	・前回の判定どおり(実・継)

C. 野菜関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
1. AKD-8151(L) 液 1-ナフタレン酢酸ナトリウ ム:0.2% 【アコ-ル カキョウ】	カキョウ	適用性 新規	熊本 南九州大 (2)	ねらい 設計 薬量 <水量> /10s 着果促進効果の検討 散布 開花当日/1回 10倍 <十分量> 20倍 <十分量> 40倍 <十分量>	継	継) 効果、葉害の確認
2. ジベレリン 水溶液 ジベレリン:3.1% 【沖縄県農林水産部】	インゲンマ (矮性品 種) さやい んげん (矮性品 種)	適用性 新規 (自主)	鹿児島 沖縄 (2)	ねらい 設計 薬量 <水量> /10s 節間伸長促進効果、2回処理への拡大 茎頂部に散布 本薬0.5~1.5濃期→1回目の3~5日後 5ppm<2mL/株>×2回 本薬0.5~1.5濃期 5ppm<2mL/株>×1回	実・継 (従来 どおり)	実) [促成、半促成栽培;節間伸長促進] ・本薬1枚展開前後 ・5ppm<2mL/株> ・茎頂部に散布 継) ・2回処理での効果の確認

D. 花き関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
1. NGR-081 水溶液 イソプロパノール:0.01% 【日本農業】	ミナウ	適用性 新規	広島 福岡 日本農業(自社) (3)	ねらい 設計 薬量 <水量> /10s 発根促進効果 挿し穂基部浸漬 定植前(挿し穂基部浸漬) 10mL/1L 処理時間:10分 10mL/1L 処理時間:1時間 50mL/1L 処理時間:10分 50mL/1L 処理時間:1時間 挿し穂全体浸漬 定植前(挿し穂全体浸漬) 1mL/1L 処理時間:10分 1mL/1L 処理時間:1時間 5mL/1L 処理時間:10分 5mL/1L 処理時間:1時間 対) オキベリン液剤 挿し穂基部浸漬 定植前 横行	継	継) 効果、葉害の確認

E. 平成23年度 春夏作分 花き関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
1. ガミジレット スプレー ガミジレット:0.4% 【日本曹達】	アザレア	適用性 継続	山形園試 福岡 果樹苗木 テリ・ホフテ園芸専 門学校(自社) (3)	ねらい 設計 薬量 <水量> /10s 茎伸長抑制効果 茎葉処理 摘芯後7~30日 十分量(希釈せずそのまま散布) 参) ビーイン水溶液 茎葉処理 摘芯後7~30日 200倍 <50-150L>	実	実) [アザレア;節間伸長抑制] ・摘芯後7~30日(摘芯後1回) ・十分量(希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理

F. 平成22年度 秋冬作分 花き関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	判定	判定内容
1. NGR-081 水溶液 イソプロパノール:0.01% 【日本農業】	カーネーション	適用性 継続	長崎 (1)	ねらい 設計 薬量 <水量> /10s 発根促進効果(挿し穂基部・全体浸漬) 挿し穂基部浸漬 定植前 10mL/1L 処理時間:10秒、1時間 50mL/1L 処理時間:10秒、1時間 挿し穂全体浸漬 定植前 1mL/1L 処理時間:10秒、1時間 5mL/1L 処理時間:10秒、1時間 対) 挿し穂液剤 挿し穂基部浸漬 定植前 1000mL/1L 処理時間:5秒 5mL/1L 処理時間:24時間	-	・前回の判定どおり(実・継)